

◎第 13 回 豊丘村リニア対策委員会 を 平成 30 年 4 月 19 日（木） 午後 7 時 00 分～ 保健センター2F にて開催しました。

○委員出席者数 32 名 ○長野県 2 名 ○JR 東海 17 名(内 JV 4 名) ○中部電力 6 名 ○豊丘村 7 名
○傍聴者数 18 名

1. 開 会 〔自己紹介〕

2. 村長あいさつ

3. 会長・副会長の選出 会長 武田 勝(堀越区) 副会長 丸岡 茂(河野区)

4. 会長あいさつ

5. 事業関係者等あいさつ

○長野県 リニア整備推進事務所 胡桃調整課長 ○JR 東海 名古屋建設部 古谷長野担当部長 ○中部電力 リニア関連送変電グループ 永井統括部長

6. 協議・報告事項

(1) 確認書の改定について

▶豊丘村 以前にご確認いただいたとおり、豊丘村と JR 東海との間で「中央新幹線建設に伴う豊丘村内における道路改良工事及び工事用車両通行等に関する確認書」を昨年5月に締結しています。締結後約1年が経過し、道路改良工事もほぼ予定どおりに進んでまいりました。豊丘村と JR 東海双方で内容の点検や見直しを行いました。その中で、地元との協議や調整により、道路改良工事の内容変更が生じた箇所があります。「確認書」に添付されています「道路工事詳細平面図」の見直しを主にお願ひする事となります。内容についてご協議ご確認をいただき見直しを行ってまいりたいと思います。JR 東海より、改定内容について、次の(2)進捗状況と併せて説明いただきます。よろしくお願ひします。

(2) 現在の進捗状況について

①JR 東海 道路改良工事の進捗状況について配布資料とパワーポイントを使って説明

・伊那山地トンネル（戸中・壬生沢工区）契約手続開始

3月23日に公募を開始した。伊那山地トンネル15.3kmの一番西にあたる6.6kmが対象となる。トンネル工事と変電所の造成工事が対象となる。

・豊丘変電所造成計画等について

3/25 大柏地区、3/29 地権者耕作者説明会を実施

付替え道路 幅員 6.5m、4m、3m の道路を設置する。

道路を付け替え後に造成工事に取り掛かる。

施設の配置計画説明。調整池の説明。

断面図にて切土、盛土、擁壁の説明。

盛土量約 14 万 m³ 搬入する。トンネル発生土を利用する。運搬路は、事業者決定後に決めていく。

・道路工事進捗状況及び道路工事工程について

村道長沢線、中央線について

歩道整備に伴う側溝改良及び歩道整備を実施

林道大島虻川線の道路改良工事と落石対策工事について

計画 道路改良 83 箇所 落石対策工 17 箇所

施工完了 道路改良 52 箇所 落石対策工 8 箇所

施工中 道路改良 5 箇所 落石対策工 9 箇所

村道中央横断線の道路改良工事について

計画 道路改良 14 箇所

施工完了 道路改良 6 箇所 施工中 3 箇所 未施工 5 箇所

道路改良工事今後の工程について説明

林道大島虻川線 → 道路改良工事と落石対策工を引き続き実施

村道長沢線 → 側溝改良工事 1 月より施工中

県道長沢田村線の工事について改良箇所内容を現在検討中

道路改良工事、落石対策工事は平成 30 年 8 月末までを予定

・道路改良工事及び工事用車両通行等に関する確認書の変更について

村道長沢線及び村道中央線の歩道整備について、場所と内容について変更が生じ改定する。概ね工事が終了したので、施工完了を反映して改定する。

○質疑応答

対策委員会での質問・意見・要望	事業者等の回答（村・県・JR東海・中部電力）
<p>会長 只今説明がありました。説明の最後の確認書の改定についてご意見を頂戴したいと思います。</p> <p>① → 関係すると思いますので確認します。4月13日に、リニア関係団体懇談会が開催され、歩道部の傾斜について見直すべきと意見がありました。この事についてどう対応されるか確認したい。 →承知しました。</p> <p>会長 その他ご意見ございますか？ — なし— それでは、村とJR東海で確認書改定の作業を進めてください。 その他ご意見ご質問はございますか？</p> <p>② → 住民の方から頂いたご質問をさせていただきます。トンネル工事本体が始まると思いますが、安全性を危惧するご質問です。昨年12月に発生した県道松川大鹿線の崩落事故がありました。中川村の四徳は三六災の時に至るところが崩落し集落が無くなってしまった場所です。四徳と今回のトンネル崩落事故の場所は近い場所です。崩落事故後に調査し、その原因について「岩盤中に土砂を内包する特異な状況」と報道されました。事故が起きてから、土地や地質が崩落しやすいと認識が変わったのでしょうか？</p> <p>→ 今後本坑の工事に入っていきますが、この地域での今後の工事では、このような事象をとらえて、もっと慎重な調査や対策を行っていくのでしょうか？</p> <p>→ 残土置き場候補地となっている松川町の生田、豊丘村本山付近は中川村の四徳と同様の地質と考えます。安全な施設の建設や維持管理が可能かも含めて検討するのでしょうか？</p> <p>→ 以上がいただいた質問の内容となります。今後工事が進められる中で障害が起きると思います。しっかりと説明をお願いします。 私から要望します。今回の大鹿のトンネル崩落事故については様々な報道がされています。事故が発生しますと大々的に報道されますが、復旧については報道が非常に弱いと思います。事故が発生した後は、復旧した事の告知をしっかりとしてほしいと思います。</p> <p>③ → 4月13日の「リニア関係団体懇談会」の際に出させていただきましたが、長沢線について車両に注意を払っていただくよう表示が必要だと思います。こちらで要望をまとめたものがありますので、会議後にお示ししたいと思います。また、歩車分離ポールの位置についても、設置場所の移動をお願いしたいところがありますので、同様に会議後にお示しします。</p> <p>④ → JR変電所の調整池の大きさを教えてください。</p> <p>→ 100年確率と言うのは、どういう事が説明をお願いします。</p> <p>→ 承知しました。関連して、調整池からの雨水排水路について、およその構造を教えてください。</p>	<p>⇒JR東海 先日頂いた意見については、現在検討中です。確認書の改定には問題のない内容と考えます。</p> <p>⇒JR東海 今回の土砂崩落の直接的な原因はトンネル掘削の発破による振動で、岩盤中の土砂が不安定となり崩壊に至ったと結論付けています。これは、崩落して道路に堆積した土砂や岩の塊、崩落後の斜面で露出した岩、トンネル内部の掘削面を確認した結果、崩落したのはトンネル上部の斜面の内部に存在していた土砂が、発破の振動により滑り落ちたものと考えています。施工前には地表踏査に加えトンネル工事に必要な探査をしています。地表は岩が露出しており、土砂が岩に覆い隠されている状態でしたので、地表からの目視踏査では把握できませんでした。今回の事象は、地表付近の土砂が岩の中に内包されている状態でしたので、特異なケースであったと考えております。</p> <p>⇒JR東海 中央新幹線でこれから行っていくトンネル工事としてお答えいたします。中央新幹線の本線のトンネル坑口部は不安定となる地形地質の箇所を極力回避する線形としております。地表踏査に加え現地状況に応じた各種地質調査を実施していきます。この結果において、調査範囲の拡大、追加調査を実施し必要に応じては専門家に助言をいただきながら斜面の安定性について検証する事としています。より一層細心の注意を払って工事を進めたいと考えております。</p> <p>⇒JR東海 発生土置き場候補地においても、安全に造成工事を行うために、地表踏査に加え地質調査を実施しています。その結果を基に長野県にもご指導いただきながら設計を進めています。また、維持管理方法について箇所ごとに異なりますが関係者と協議をさせていただき、より安全な維持管理を実施して参りたいと考えております。</p> <p>⇒JR東海 調整池の大きさについては、およそ18m×30m×深さ4mです。容量の考え方として、このような場合は30年確率の雨量が基本となりますが、地形等を考慮し調整池の形状を決定する中で、今回は結果的に100年確率の雨量にも対応できる容量となっています。</p> <p>⇒JR東海 100年に1回程度の確率で降るような大雨が降った際に、大量の水が一度に流れ出る事のないよう、流量調整して流せるよう水を蓄える事のできる大きさになっています。</p> <p>⇒JR東海 雨水排水路の長さは約200m、φは約600mmを計画しています。地表に置くような形で排水管を設置し土で覆うよう予定しています。</p>

→ 大きさ長さについては理解できました。放流先はバチ沢です。下流は壬生沢川となります。雨水排水については水利権者や漁業組合等との調整確認が必要となりますが、調整の仕方、考え方を教えてください。

→ 地元の皆さんに理解いただけるよう、資料配布と時間をかけた説明をしていただけるようお願いいたします。

⑤ → 変電所用地に 14 万㎡の盛土と言う事だが、何処の土をどのルートで運ぶのか計画が決まっていたら教えてほしい。本日初めて示された図面ですので、今後検討させていただいて JR 東海さんに要望事項を伝えたいと思います。

⇒JR 東海 河川管理者と相談の上しっかりと対応して参ります。

⇒JR 東海 具体的な計画については、現在戸中・壬生沢工区を請負っていただく会社を選定中であることから、事業者が決まったところで計画を立ててご説明させていただく事となります。一番は壬生沢坑口からの土となると思われますが、変電所から本線への立穴の土も発生します。どこからどれだけの土をどのようなルートで運ぶかは、請負会社が決まって計画を深めたうえでご説明し、相談していきたいと考えています。

②中部電力 これまでの調査や設計でまとまってきた変電所概要、今後のスケジュール、自主環境調査の報告について説明

50 万 V の南信幹線（送電線）より分岐し上佐原地区に変電所を計画。

この変電所から JR 東海の計画する豊丘村柏原と大鹿村の変電所へ豊丘村内では約 30 基の鉄塔で結ぶ計画をしています。

変電所造成工事の概要説明。工事車両通行ルート説明。

変電所工事スケジュール説明（H30 秋頃着工予定）

送電線工事スケジュール説明（H31 秋頃着工予定）

自主環境調査結果概要説明。（水質調査・騒音振動調査・電波障害・動植物調査・景観調査）

5 月に 1 カ月間詳細の閲覧期間を設ける。

○質疑応答 なし

○質疑応答

対策委員会での質問・意見・要望	事業者等の回答（村・県・JR東海・中部電力）
<p>⑥ → 中電の変電所調整池の水の放流先は、どの川に流れていくのですか？</p> <p>→ 是非下流域の皆様への計画説明、理解獲得を進めていただきたいと思います。</p>	<p>⇒中電 調整池の水は佐原川へ排出し、芦部川に合流し天竜川へ流れていきます。</p>

③長野県 長野県では郡部のリニア工事本線部分の用地取得事務を担当しております。豊丘村の状況は、前回と変わりありません。非常口の坂島と戸中の用地は取得済み。JR 東海の変電所の用地と壬生沢坑口の用地は計画を定めているという事で、用地測量が終わりしだい交渉に入る予定であります。

(3) その他

①豊丘村リニア関連事業(平成 30 年度)

(1) 長野県大気環境測定車の設置 現在の大気状況を測定

測定実施予定日 平成 31 年 1 月 15 日(火)~2 月 14 日(木)

測定予定箇所 河野 三次原地籍

(2) 騒音・振動・交通量 調査の実施 ⇒ 現状の環境状況を調査

(3) 水文調査 地下水の調査を継続 ⇒ 壬生沢坑口付近の個人縦井戸の調査

➤豊丘村 説明

長野県の大気環境測定車を設置し、本格的な工事の前の大気の状態を測定します。前年度には佐原地区で測定しています。本年度は、河野中平三次原地籍での測定を予定しています。騒音・振動・交通量の調査を実施します。大気観測同様に本格的な工事の前の状態を測定するもので、項目は異なりますが村内4カ所での測定を予定しています。家庭井戸の調査を引き続き実施して参ります。また、佐原地区で実施した大気環境測定の結果を村のホームページでお知らせしておりますのでご覧いただきたい。

○質疑応答

対策委員会での質問・意見・要望	事業者等の回答（村・県・JR東海・中部電力）
<p>⑦ → 前回に続いて JR 東海に落石対策工事の安全対策について質問をします。資料の写真を見ると、ネット等の安全対策をとっておりますが、この季節は、釣り人や山菜採りの方の入山があります。拡声器等で安全を確かめてやっていただきたい。変電所擁壁での光の反射による農作物への影響や交通への影響も考慮して対応しているのでしょうか？</p> <p>⑧ → 前回の対策委員会で、議会から要望と言いますか提案として「リニア対策委員」の公募をしたらどうかと提案していますが、事務局では検討されていますでしょうか？</p> <p>→ 検討の中間的な報告と受け止めます。他の委員会の要綱にも公募委員があります。公募委員を置くべきだと言う意見については、広く意見を聞いていただいて来年3月に向けて要綱の見直しが必要かどうかを再度検討されますよう、提案をいたします。</p>	<p>⇒清水大日本JV 道路は引き続き通行止めとなっております。川を遡る釣りの方へは、危険の周知を看板や現場作業員を通じて行っています。拡声器等の利用も今後検討したい。</p> <p>⇒JR 東海 変電所のコンクリート擁壁については、例えば表面加工等、いろいろと対応できると考えます。詳細を決めた後、地元等に説明していきたいと考えます。</p> <p>✓豊丘村 理事者以下で検討しております。現在の考え方ですが、対策委員会設置要項に基づき7つの区から3名ずつ選出いただいた住民代表の方と、10の組織団体から推薦いただいた方35人以内という規定の中で進めて参りました。リニア中央新幹線工事は村として非常に負荷のかかる事業で、会議等も長時間にわたって実施しております。工事に対して生じます様々な問題課題に対して情報共有し対応を検討協議していく事を目的として運用して参っております。当面現状で良いと考えております。住民の方からお寄せいただいた意見を委員の方より発言いただいて対応させていただいております。今の委員の皆さんの任期が来年の3月までとなっておりますので、議会の特別委員会のご意見等をお伺いしながら、次回の委嘱に向けて公募委員の参加が良いかを検討したいと考えております。</p>

〔次回の開催予定〕 次回の予定を 平成30年5月30日（水） pm 7:00～ とさせていただきます。2カ月に1回の開催をしてきておりますが、3月に開催できなかったものを今回開催しております。JR東海、中電で皆様にお繋ぎする内容がなければ、開催を見送ります。再度ご通知いたしますのでよろしくお願いいたします。

6. 閉 会

○終了時間 午後8時55分